



例会報告

高山西ロータリークラブ

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

●例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
●例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4 F

●会長 古橋 直彦
●幹事 遠藤 隆浩
●会報委員長 塚本 直人

もみじ
蜘蛛 康介

<会長の時間>

私事ですが、昨年と今年、秋の高山祭りの年行司を仰せつかりました。昨年は副、今年は正になり正副の年行司長を勤めました。

櫻山八幡宮の祭礼規定には、祭りを統率する最高指揮者は年行司であるとかかれています。8月1日祭事始祭からその年の祭りにむけて動き出します。祭りまでは宮司、責任役員と話し合いを重ねますが10月7日、試楽祭からは全て年行司が祭礼を取り仕切ります。10月9日、順道場において各屋台組の代表が2日間の祭りの間、年行司の命令に従う事を誓い祭事が執り行われていきます。

年行司が行う仕事で最も大きい仕事の一つは御神幸であると記されています。享保3年(大岡越前が町奉行になった頃)の記録では、すでに総勢数百人のも及ぶ大行列であったとあります。今から290年前には現在の行列の原型が出来ており、しかも、順路に至っては中橋を渡り陣屋まで出向いていることが伺われます。

大正末期の記録によると、9月15日の本祭当日は午前2時、御分霊をみこしに移し、午前3時には各屋台を境内に曳き込み、7時鬨鶏樂、雅樂を庭上(本殿ではなく境内)にて執り行い、10時屋台を加えた御神幸行列が出発し、午後6時に還御。屋台は点灯して江名子川を挟み曳き払うとあります。当時は午前2時から午後7時過ぎまでの奉仕で苦勞が伺えます。春の高山祭りは「夜祭り」秋の高山祭りは「宵祭り」なぜ呼び方が違うのかとよく尋ねられますが、9月15日午後6時頃は宵だったその名残で、現在も秋の高山祭りは宵祭りと呼ばれているのではないかと個人的に思っています。

先ほど年行司の最大の仕事の一つは行列での差配である、と申しましたが、屋台曳き揃えの場所決め、からくり奉納、9日10日の御神幸、屋台曳き廻し、宵祭りと祭事のみを粛々と行うだけならありがたいのですが、もう1つの仕事は毎年ウエイトがましてきた渉外の仕事です。

高山祭りは祇園祭り、秩父の夜祭りとは並び日本三大美祭に数えられていて、毎年多くの観光客で賑わいます。今年の祭りは好天にめぐまれ、22万6千人もの観光客にお越しいただきました。お越しいただいた皆様に、事故も無く安全に、出来るだけ快適に祭りを楽しんで頂きたく、高山市役所や警察署など関係する団体との話し合いが祭り前、また来年にむけた意見交換会と、何回も開催されます。これも年行司の重要な仕事となります。具体的に警察署から境内を含めた防犯カメラの設置要請、車両通行許可書の申請は神社で取りまとめなさいとか、市からは、からくり奉納に際し車イスの観光客の場所を確保お願いできませんとか、毎年いろいろな今年度新たに要請があり実施できるものはご協力致しています。

祭事とは、去年までやって来た事を今年の祭りでどれだけ忠実に行えられたか、続けられたかに尽きると思います!市役所や警察署等との話し合いのなかでも、祭事に軸足に置き、それがぶれない様、常に心掛けて事に当たっています。一貫性のないその場しのぎの対応をすると、来年の年行司が何倍もの労力を要して軌道修正をする事になるからです。



<幹事報告>

◎飛騨慈光会後援会 会長
岡田 贊三 氏より

・飛騨慈光会後援会設立10周年
記念大会ご出席のお礼

◎高山市青少年市民会議より

・「第32回家族スナップ写真展」「第24回家庭の日図画展」
開催にかかる出役について(依頼)

出役日時 12月3日(木)から6日(日)まで
場 所 高山市民文化会館 2-5会議室 2-6展示室 4-7大会議室

◎高山市市民憲章推進協議会より

・「子育て親育ち講演会」の開催について(ご案内)

期日 11月26日(木) 19:00~21:00
会場 高山市民文化会館 小ホール
講師 坪田 信貴 氏 映画『ビリギャル』原作者

<受贈誌>

直前ガバナー事務所(2014-15地区記録誌)、岐阜北RC(岐阜AグループIM記録誌)、台北市松年福祉會(玉蘭荘だより)



<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	32名	2名	34名	45名	75.56%
本日	32名	-	32名	45名	71.11%

<本日のプログラム> ロータリー財団委員会

委員長 山下 明

本日は第2630地区ロータリー財団資金推進委員会賞委員長 辻 正敏 様にお越しいただきました。

7月に岐阜にて開催されましたロータリー財団セミナーにおいて司会を務められたのが辻様で、その場で本日の卓話についてお願いして参りました。ロータリー財団の新しい補助金システム「未来の夢計画」について、昨年度当クラブも地区補助金を活用して『よって館』を整備いたしました。その仕組みについてさらに理解を深めるべく、改めてこの場でお話しさせていただきます。

また本日この場で募金箱を回させていただきます。こちらは『ポリオ』指定寄付金として財団へ送金させていただきますので、よろしくご協力の程お願いいたします。



例会報告



国際ロータリー第2630地区ロータリー財団部門資金推進小委員会
委員長 辻 正敏 様

○ロータリー財団とは

標語は、「世界でよいことをしよう」(Doing good in the world)。その使命は「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」です。

このロータリー財団は、1917年6人目RI会長のアーチ・クランフが「世界でよいことをするために、ロータリーに基金を作ろう」と提案して始まりました。最初26ドル50セントで始まったR財団基金は約100年間で純資産合計10億9,270万ドル超(2013-2014年度)に大きく成長しました。ところが同時に様々な問題を抱えるようになりました。

特に10数年前からR財団は相当な数のマッチング・グラントを処理するようになりました。これはロータリアンがR財団の人道的プログラムの価値を大きく評価するようになったからです。しかし増えた提出書類の処理に多大な時間と経費を費やすようになりました。R財団は会計・コンサルティングを専門とする会社に調査を依頼。結果は今のプログラムのモデルでは長期的な成功が望めないとの結論に達しました。これを受けR財団管理委員会は未来の夢委員会をつくりプロジェクトの見直しに取掛りました。これが「未来の夢計画」(フューチャー・ビジョン)の始まりでした。

「未来の夢計画」の目的は、プログラムと運営を簡素化すること、最大の成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること、世界的目標と地元の目標の両方を果たすためのプログラムを提供すること、意思決定権を今まで以上に地区に移行することで、地区レベルとクラブレベルでロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること、ロータリーの公共イメージを高めることの5項目です。

岡田ガバナーは、RI会長・ラビンドラン氏のテーマ「Be a gift To the world」(世界へのプレゼントになろう)、そして挨拶での「私たちに与えられた時は今です。この機会は二度と訪れるものではありません。」との言葉に感動、共感され、地区テーマを「過去、現在・今、行動するロータリアン」～会長賞に挑戦しよう～とされました。その会長賞にもロータリー財団寄付の推進が掲げられています。

○ロータリー財団寄付の種類

ロータリー財団への寄付は、年次基金、恒久基金、使途指定

の3種類に分けられます。

年次基金寄付は、EREY(Every Rotarian Every Year)、日本では「毎年あなたも150ドル(現在日本全34地区年次基金寄付目標額)」と言われる寄付です。(当地区では一昨年度から毎年の目標額を150ドルとお願いしています。)この寄付は3年周期で投資運用されます。3年後、寄付を全ロータリークラブが参加できるロータリー財団の活動のために財団が活用する国際財団活動資金(WF)とクラブまたは地区が財団の補助金及び活動に参加するための地区活動資金(DDF)に50%ずつ分けられます。つまり今年度年次基金寄付としての寄付金額の50%が、恒久基金の運用益と一緒に3年後に地区に戻ってきます。

恒久基金寄付は、国際ロータリーのロータリー財団が寄付された元本には手を付けずに投資運用して、その収益を活動資金として分配しています。

使途指定寄付は、使い道を指定して寄付します。例えば今のポリオ撲滅に対する寄付がそれに当たります。

○ロータリー財団補助金の種類

補助金の種類とその内容については、補助金は、地区補助金(DG)、グローバル補助金(GG)、パッケージ・グラント(PG)の3本立てです。

地区補助金は、該当する寄付年度の地区財団活動資金(DDF)の50%を地区の裁量でクラブまたは地区が行う以下の事業に使えるものです。

人道的プロジェクト： 地元や海外の奉仕プロジェクト・奉仕のための渡航・災害救援活動

職業研修チーム： ① 共同提唱や海外クラブ・地区との協力といった要件が無い
② チームの人数や研修期間に制限がない。
③ チームは研修を提供することも、受けることもできる。

奨学金： ① レベルは(高校・大学・大学院)・期間・場所(国内あるいは海外)・専攻分野に関する制限がない
② 奨学金の額に制限がない

※地区では地区補助金について独自の基準と管理運営手続きが必要として地区補助金支給基準が設定されています。

グローバル補助金は、残りの50%を重点分野6項目(①平和と紛争予防/紛争解決、②疾病予防と治療、③水と衛生、④母子の健康、⑤基本的教育と識字率向上、⑥経済と地域社会の発展)に当てはまる事業に使えるものです。

「未来の夢計画」スタート時点にはパッケージ・グラントがありました。R財団が選んだ協力組織と提携して活動する事業に使われるものでしたが、2014年4月の管理委員会で廃止が決定しています。

○ロータリー財団補助金を使うには

地区内クラブがよく使う地区補助金の申請スケジュールは、例えば2016～2017年度事業を行う場合、2015～2016年度の10～11月に覚書(MOU)を地区と交わし、12～1月に事業を申請しな

世界へのプレゼントになろう

例会報告

ければなりません。このように前の年度からの動きとなるので計画立てていかなければなりません。グローバル補助金はいつでも申請できます。

覚書(MOU)はロータリー財団補助金使用事業計画が無いクラブでも交わしておくことが大切です。

○ロータリー財団補助金を使ったクラブの行うこととは

ロータリー財団補助金を使った事業を行ったクラブは、積極的に事業の成果やロータリー財団補助金を使って出来たことを広報してください。未だロータリー財団補助金を使ったことのないクラブがこの補助金を使ってみようとして欲しいのです。またロータリー以外の方々から、「このようなことに使えないだろうか」と提案があるかもしれません。

ロータリー財団は、せっかく皆さんからいただいた寄付を少しでも多く有効に使われることを願っています。

○PHS(ポールハリス・ソサエティ)へのお誘い

本年度からロータリー財団の公式プログラムになりましたPHS(ポールハリス・ソサエティ)への参加をお願いします。これはEREY(毎年100ドルとか150ドル、いやいや200ドルと言っていますが)は既にロータリアンとしては当たり前で、毎年1,000ドル寄付するプログラムです。実は毎年1,000ドル寄付いただく方は全体の5%ですが、その方々の寄付が年次寄付の35%に相当しています。この財源は「世界で良いことをしよう」というロータリー財団の目的達成に大きな貢献をしています。今後、機会あるたびにPHS会員を讃える催しは増えると思われます。例えば地区大会でPHS会員には特別な会合が持たれるなどです。このソサエティにお入りいただきますとPHSの特別なピンと認証状が届きます。年間1,000ドルの支払にはいろいろな方法があります。ぜひお入りいただきたいと思います。お問合せや詳しい入会方法につきましては地区事務所に連絡をいただければ幸いです。



<ニコニコボックス>

●国際ロータリー第2630地区ロータリー財団部門資金推進小委員会委員長 辻 正敏 様

今日はロータリー財団月間の卓話でお邪魔しました。宜しくお願ひ致します。

●古橋 直彦さん、遠藤 隆浩さん

国際ロータリー第2630地区ロータリー財団部門資金推進小委員会委員長 辻 正敏 様、遠路お越しいただきありがとうございます。本日はよろしくお願ひ致します。

●小森 丈一さん、田近 毅さん

地区財団委員 辻様、お久しぶりです。遠路ようこそお越し下さいました。卓話を楽しみにしています。

●山下 明さん

①ロータリー財団部門資金推進委員長 辻正敏さんの御来訪を歓迎いたします。超御多忙の中、快く卓話を引き受けて頂き感謝感謝です。

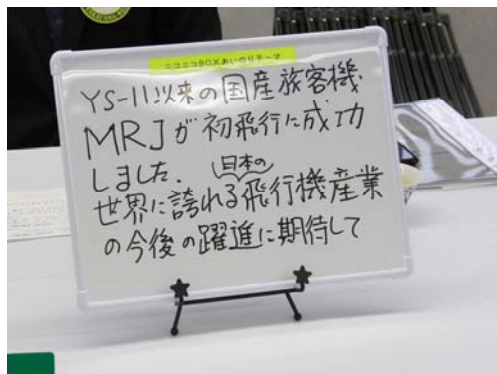
②ポリオ撲滅活動資金のご寄付を本例会会でお願ひします。財団箱をお返ししますので、よろしくお願ひします。

③先日誕生日に手首血圧計を頂きました。簡便で重宝しています。ありがとうございました。

●平 義孝さん

日々健康で暮らせる事に感謝して。

●田中 晶洋さん、米澤 久二さん、平 義孝さん、井辺 一章さん
田邊 淳さん



YS-11以来の国産旅客機MRJが初飛行に成功しました。世界に誇れる日本の飛行機産業を期待して。

●狭土 貞吉さん

今日は思いもせぬ大金が入りました。皆さん、ロータリアンとして活かして使いましょ。米山奨学委員長よりお願ひしておきます。

●中島 弘人さん

家内の誕生日に素敵な花を有難うございました。最近欠席が多く申し訳ありません。本日も所用にて早退させていただきます。

●住田 泰典さん

朝夕冷え込むようになりました。小学6年生の娘がカゼを引いて学校を休みました。皆様ご自愛ください。本日打ち合わせのため早退させていただきます。

●鴻野 幸泰さん

本日早退します。